



QREC の新しい 10 年・福岡市や福岡近隣大学と連携した、さらなるアントレプレナーシップ教育とスタートアップエコシステム拠点形成について

九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター (QREC) は、2010 年 12 月の設立以来、国内有数の体系的なアントレプレナーシップ教育カリキュラムを提供し、活動開始から 10 年の節目を迎えました。

QREC では、年間 30 以上の関連科目を全学に対して提供し、延べ履修者数は 1,300 人/年を超える規模に達しています。また、学生の自主プロジェクトを支援する S.I.P. (Student Initiative Program) を通じ、起業を含む学生の多様な挑戦を促してきました。

これまでの 10 年間の活動実績を踏まえ、学内はもとより、福岡を中心とする近隣大学との新たな戦略的取組を行います。

スタートアップエコシステム拠点形成事業の強化 [発表資料 P9, 10](#)

2019 年より、米国 MIT が提供するプログラム (MIT REAP; Regional Entrepreneurship Acceleration Program) に参画し、地元福岡の行政・大企業・起業家・リスクキャピタルといったステークホルダーと共に、福岡地域におけるイノベーションドリブンエコシステム (IDE) 形成に向け戦略を検討してきました。

この素地を活かし、2020 年に内閣府「スタートアップエコシステム拠点形成事業」が福岡市と共同で採択されました。スタートアップエコシステムとは、地域がスタートアップ企業の誕生～成長に不可欠なサポート機能を備え、イノベーションを促進する環境を指します。2021 年 3 月には「JST 社会還元加速プログラム (SCORE) 大学推進型 (拠点都市環境整備型)」に採択され、これまで以上に取組みを加速してまいります。

また、QREC 設立時からのロバート・ファン氏 (Synnex Co. 創業者) による大型のご寄附に加え、本学卒業生で、卒業後に起業し上場企業へと成長させた諸藤周平氏 (REAPRA グループ CEO)、鍵本忠尚氏 (株式会社ヘリオス CEO) からの大型ご寄附により各種基金を創設しました。この基金を活かし、これからのさらなるスタートアップの創出、成長、グローバルスタートアップといった福岡流エコシステムの形成を加速します。以下は、その代表的な取組みです。

1) 人材育成と技術商業化が同期した”GAP NEXT”によるスタートアップの促進 [発表資料 P11](#)

福岡流エコシステムから世界に伍するディープテック企業の創出を目指し、技術商業化と人材育成を同期させる「GAP ファンド NEXT プログラム」を今年度から起動します。従来から、本学では GAP ファンド制度を有していましたが、本 GAP ファンド NEXT プログラムでは、研究者がギャップファンドを活用した実用化研究に集中できるよう、事業化検討に専念するプレ Cx0 人材 (※) を、兼業・副業制度を活用して獲得する仕組みや、QREC の教育プログラムを活用して GAP NEXT に関わる人材の育成を進めます。(※) プレ Cx0 人材: 将来の CEO や COO 候補人材)

2) 近隣大学と構築する Fukuoka School of Entrepreneurship (FSE) による地域の人材育成基盤づくり [発表資料 P12](#)

Stockholm School of Entrepreneurship (SSE: スウェーデン) を福岡流に最適化し、「西部五大学連携協定」等の活用により、今年度から福岡市都心部で QREC 科目や他大学のアントレプレナーシップ関連科目を開講します。産学官が教育を中心とするリソースを持ち寄り、地域の起業家予備軍のすそ野を広げます。

なお、6月12日（土）にアクロス福岡イベントホールにて、QREC 設立 10 周年記念イベント『アントレプレナーシップ教育が拓く未来』を別紙の通り開催します。福岡市長やロバート・ファン氏からのメッセージや、欧米の著名なアントレプレナーシップ教育者による基調講演（同時通訳付）、QREC の授業を受けた後、起業をはじめ様々な活動を展開している九大の卒業生・現役生らによるプレゼンテーション、教育者や起業家を交えたパネルディスカッションなど、充実したイベントとなっています。福岡地域の起業家のネットワーク形成の一助ともなる同イベントにぜひお越しください。